

令和6年度茨木市バリアフリー基本構想協議会 会議録

1 日 時

令和6(2024)年5月27日(月) 10時00分～11時40分

2 場 所

市役所南館10階大会議室

3 出 席 者

・委員

塚口委員、猪井委員、伊良原委員、岩合委員、佐藤委員、笹野委員、六條委員、山下(裕)委員、吉村委員、北村委員、山下(智)委員、吉岡委員、宮城委員、佐治委員、裏委員、南部委員(代理：秀坂)、前田委員(代理：中山)、森岡委員、小西委員、福井委員、辻田委員、藤田(憲)委員

・事務局

交通政策課、道路課、施設課、長寿介護課、障害福祉課、学校教育推進課、危機管理課

4 欠 席 者

藤田(景)委員、中野委員、土山委員、宮本委員、山崎委員

5 開催形態

公開(傍聴人0人)

6 次第及び議事内容

(1) 開会(建設部長挨拶)

(2) 【議事1】：会長・副会長の選出について

【議事2】：会議の公開・非公開について

【議事3】：事業進捗状況について

【議事4】：その他

【議事1】：会長・副会長の選出について

〔委員の互選により、塚口委員が会長に、猪井委員が副会長に決定〕

(塚口会長あいさつ)

成熟した社会においては、多様な人になるべく不便を感じずに生活できることがさらに重

要である。

従来から、本市のバリアフリー協議会では、多くの関係者が集まり多様な視点から議論してきたが、今後も各担当がさまざまな立場から取り組むことが必要になるため、情報を共有し、十分に議論していきたい。

(猪井副会長あいさつ)

大阪・京都で、運転手不足でバスのダイヤを減便せざるを得ないという話が出ている。いろいろなところで人が足りないという話がある一方、以前よりも多様性が出てきた中で、対応すべきことも増えてきている。このような状況の中で、大変難しいところもあるが、茨木市としては、計画を立てて進捗管理をしている。皆様の状況をお伝えいただくことが大事であるので、ご意見を賜りたい。

【議事２】：会議の公開・非公開について

〔会議の公開について、以下の通り決定〕

会議は原則、公開とする。ただし、非公開とすべき事案が発生したときは、会議の非公開を決定することとする。会議資料については傍聴者へ閲覧、配布する。

〔会議録の公開について、以下のとおり決定〕

会議録は要点筆記の形で事務局が作成した案を会長が確認した後、公開する。また、会議録中の発言者の委員名は表示し、会議資料についても公開する。

【議事３】：事業進捗状況について

〔事務局からの説明〕

(塚口会長)

- ・事務局提供の資料３図面の生活関連経路の色と今回報告箇所の色が似通っている。バリアフリーに関する協議会でもあるので、資料の色彩についても配慮されたい。
- ・資料３図面と各ページの繋がりがわかるよう、資料を工夫されたい。
- ・事務局から説明のあった事業進捗について、意見・質問等あれば伺いたい。

(山下委員)

- ・学校のエレベーター設置数について、口頭で説明があったが、資料の中にも全学校数を明記されたい。
- ・縁石ブロックの段差解消（兵庫県型縁石の設置）について、国、府も進めてほしい。
- ・研修を行う際、当事者を招いての研修を実施されたい。
バス事業者には当事者を招いた研修を実施頂いているが、鉄道事業者についても、当事者参画の研修を実施されたい。

・人手不足だと思うが、無人駅の対応について、今後一緒に考えていきたい。

（事務局）

兵庫県型縁石は平成 27 年度に試験的に導入し、経過・当事者の反応ともに特に問題はなかった。設置基準を整理の上、積極的に導入したいと考えている。

（猪井副会長）

兵庫県型縁石は、当初段差を 2 c m 残して設置する前提で作られていたはずである。

2 c m の段差を残しても、まだ視覚障害者には歩車道境界が分かりにくいいため、縁石にスリットを設けるということだった。

（佐藤）

縁石について、段差が 0 c m だと白杖ではわかりにくい。

必ず点字もセットでつけていただくことを条件に、設置いただきたい。

（猪井副会長）

兵庫型縁石の施工マニュアルもあるはずなので、確認が必要である。

（六條委員）

2015 年くらいから縁石の設置について検討・検証してきたが、その頃は段差 2 c m の話はなかった。

（塚口会長）

事務局で経緯とともに確認されたい。猪井副会長が経緯に詳しいので、相談されたい。

（六條委員）

- ・学校のバリアフリー化について、山下委員の発言と同様で、資料に「何校中何校にエレベーターを設置済み」と記載されたい。
- ・校舎が複数棟ある場合はそれぞれの棟にエレベーターを設置しているのか。
- ・トイレについては、洋式化も大事だが、バリアフリースイールの整備状況はどうなっているか。
- ・学校の周辺のバリアフリー状況も気になる。通学路のバリアフリー化についても対応されたい。

（事務局：施設課）

1 校を除いて、学校にエレベーターを 1 基設置している。

全校に多目的トイレを設置している。改修予定のトイレに多目的トイレがある場合も多目的トイレとして改修を行っている。

〔事業者からの説明〕

（塚口会長）

事業者から説明のあった事業進捗について、意見・質問等あれば伺いたい。

（岩合委員）

- ・鉄道駅の転落防止柵について、ホームドアタイプとロープ型があるが、ロープ型は圧迫感もなくコスト面からも、比較的設置が簡易ではないか。JR 茨木駅にも早急に導入されたい。
- ・京阪電車は、ホームの下が空洞となっており、転落しても避難できるスペースがあった。JR は転落した際に逃げ込めるスペースがないため、整備が必要ではないか。

（北村委員）

ホーム柵は適宜設置を進めている。ロープ式でも、費用は一定かかる。ホーム柵設置まで、転落検知システムの整備をすすめていく。

ホーム下はその場所毎の構造により形状が異なる。転落検知センサーや非常ボタンで対応している。

（岩合委員）

京阪バスについて

- ・阪急茨木市駅から枚方行の乗場を尋ねられたことがある。標示板を分かりやすく整備されたい。
- ・停留所のベンチの角に足をぶつけた人を見た。ゴムのカバーをベンチ角につけるなど、対応されたい。

（宮城委員）

- ・阪急茨木市駅には数年前に看板を設置した。必要な場合、適宜対応する。

（佐藤委員）

南茨木駅の踏切エスコートゾーンの設置予定はどうなっているか。

（事務局：道路課）

今年度設置予定である。現在阪急電鉄との協議を進めており、整い次第着工する。

(笹野委員)

事業者で手話講習会を実施した話があったが、大阪モノレールのみである。他事業者での実施予定はあるか。

(北村委員)

※鉄道事業者を代表して発言
研修担当部署へお伝えする。

(宮城委員)

※バス事業者を代表して発言
乗務員全員に手話を習得させることは難しいが、何名かには参加させたい。現実的に運転しながらの手話は難しいので、筆談の用意をしている。筆談を併用しつつ、今後の研修について検討していく。

(六條委員)

- ・事業者の研修について、コロナも落ち着き昨年度より阪急バスとの研修を再開した。企画段階から参画しているが、引き続き継続して取り組みたい。
言語障害の方への対応に、課題を感じている。
昨年度から、近鉄バス・京阪バスの方にも研修に参加いただいたので、今後、合同で研修出来たらよいのではないか。
- ・事業者の合理的配慮の義務化の話について、建設的対話の部分で、事業者と障害のある人が話し合っても対応策を検討するということだが、現場で話し合う時間がなかなかない。しかし、阪急バスとは研修の場で話し合う機会を持てている。
鉄道事業者は研修を色々とされていて素晴らしいことだと思うが、気づきや発見のためにも、そこに当事者が入っているかどうか重要である。研修に当事者が参画することを検討されたい。
先ほど話があった手話講習会の件もそうだが、最初はできないということもわかるが、少しずつ努力をしてほしい。それが、建設的な対話であると思う。新たな研修をやることは大変であるので、当事者が中にはいることで、できることから、一緒にやっていけたらと考えている。やっつけ仕事にならないよう、より丁寧に取り組んでいただきたい。

(猪井副会長)

企画段階から当事者の方に入っていただくことは、本当に必要なことを精査するためにも有用であるので、対応いただきたい。

(山下委員)

- ・事業者による合理的配慮の義務化について、合理的配慮の新たな事項が示され、事例が提示されたことでわかりやすくなった。
- ・配慮をしなくてもよい場合の事例が載っているが、「やらなくていい」と思わず、取り組まれない。
- ・今後協議会の資料を作成する場合、専門的な言葉がわからない場合もあるので、「ことばの資料集」のように、ことばの意味を説明するものをつける等、配慮されたい。特に、新しい言葉で、わかりにくい言葉については、注釈をつける等対応されたい。

(塚口会長)

全てに対応するのは難しいが、新たな制度等について対応する必要がある。

【議事4】：その他

(塚口会長)

その他の事項について質問等あれば伺いたい。

(伊良原委員)

基本構想改定概要の資料について、「社会的障壁の除去、共生社会の実現」との記載がされた件は評価できる。しかし、何のことを指しているのか言葉の意味が分かりにくい。山下委員と趣旨は同じだが、わかりやすい文言を入れる等少し補足が必要である。できるだけわかりやすい表現にした方がよい。

(塚口会長)

概要の資料については紙面が限られているので記載が難しい部分もあるが、もう少し詳しく説明ができる資料であれば、配慮が必要である。

本日は様々な議論がなされた。事務局におかれては、本日の議論を反映させ、良い方向に事業が進むよう尽力頂きたい。

(事務局)

本協議会は年に一度開催を予定しており、次回も5月頃に予定している。

日時については、別途調整し決定したい。

(以上)